PAT-NO:

JP362189707A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 62189707 A

TITLE:

LAMINATED INDUCTOR

PUBN-DATE:

August 19, 1987

INVENTOR-INFORMATION:

NAME
HASHIMOTO, KOJI
TANABE, KENZO
KANE, JOJI
BESSHO, YOSHIHIRO
KIMURA, TOMOHIRO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME COUNTRY

MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD

N/A

APPL-NO:

JP61031463

APPL-DATE:

February 14, 1986

INT-CL (IPC): H01F017/00, H05K001/16

US-CL-CURRENT: 336/200, 336/223

ABSTRACT:

PURPOSE: To obtain a relatively large inductance in a small area by forming a conductor in a spiral shape perpendicular to the surface of a laminated substrate.

CONSTITUTION: A vertical conductor portion of a spiral conductor 2 is formed by techniques of through hole and viahole. That is, horizontal conductors formed on the respective layers are connected in a spiral shape by techniques of through hole and viahole, and a laminated inductor formed in a spiral shape is formed perpendicular to the surface of a laminated substrate. This construction can be readily formed by a copper-bonded laminated substrate a thick film laminated substrate or thin film substrate, etc. Thus, the laminated

inductor which can obtain a relatively large inductance in a small area can be readily formed.

COPYRIGHT: (C)1987,JPO&Japio

⑩ 公 開 特 許 公 報 (A) 昭62 - 189707

⑤Int.Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

码公開 昭和62年(1987)8月19日

H 01 F 17/00 // H 05 K 1/16 D-2109-5E B-6736-5F

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

❷発明の名称 積層インダクタ

②特 願 昭61-31463

23出 願 昭61(1986)2月14日

興 門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内 本 の発 明 者 橋 門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内 辺 謙 造 79発 明 者 \mathbf{H} 門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内 根 明 丈 79発 者 加 門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内 所 芳 宏 ⑫発 明 者 別 松下軍器産業株式会社内 弘 門真市大字門真1006番地 知 ⑫発 明 者 木 村 門真市大字門真1006番地 人 松下電器産業株式会社 ②出 顖

现代 理 人 弁理士 中尾 敏男 外1名

明 細 重

発明の名称
 積層イングクタ

2. 特許請求の範囲

- (I) 積層基板の表面に対して垂直方向に導体を、 うず巻形状に形成することを特徴とする積層イン ダクタ・
- (2) 積層基板として調張積層基板を用いた特許請求の範囲第(1)項記載の積層インダクタ。
- (3) 積層基板として厚膜積層基板を用いた特許請求の範囲第(1)項記載の積層インダクタ。
- (4) 積層基板として薄膜積層基板を用いた特許請求の範囲第(1)項記載の積層インダクタ。
- (5) 積層基板表面に対して垂直方向にうず巻形状を形成した導体複数個を、積層基板表面に対して水平方向に並らべ、さらに前記導体複数個の捲回方向が同じになるように接続したことを特徴とする特許請求の範囲第(1)記載の積層イングクタ・
- 3. 発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明は、受信機、送信機および通信機器全般 に使用することができる積層インダクタに関する ものである。

従来の技術

近年、電気機器の軽薄短小化が急激に進歩し、 各種部品はチップ化され、さらに積層基板内に組 込まれるようになってきている。

以下図面を参照しながら、上述した従来のイン グクタの一例について説明する。

第 3 図は従来のイングクタの構成図を示すもの である。

第3図において、 100は絶縁体である。 101は 絶縁体 100の表面に形成されたうず巻形状の事体 である。

以上のように、一般的に積層基板においてうず 巻形状のイングクタを形成する場合は、積層基板 表面に対して水平方向にうず巻形状を形成してい

発明が解決しようとする問題点 しかしながら上記のような構成では、積層基板 の 表面に水平方向にうず巻形状を形成するので、 面積が大きくなり、大インダクタンスの実現が困 難である。また、高密度実装に不向きであった。

本発明は上記問題点に鑑み、小さな面積で比較 的大きなインダクタンスをも実現することのでき る積層インダクタを提供するものである。

問題点を解決するための手段

上記問題点を開発するために本発明の積層イン ダクタは、積層基板の表面に対して垂直方向に基 体を、うず巻形状に形成するという構成を備えた ものである。

作用

本発明は上記した構成によって、積層基板の表面に対して垂直方向にうず巻形状を形成するので、 面積が小さく、しかも比較的大インダクタンスも 実現することができるので、高密度実装に非常に 適している。

実施例

以下本発明の一実施例の積層インダクタについて、図面を参照しながら説明する。

B 線における断面図、(d)はC-C 線における断面図、(d)はC-C 線における断面図を示す。第2図(a)~(d)において、3は絶縁体、4~8は媒体、9~12は媒体4~6の端子である。積層基板表面に対して垂直方向にうず絶形状を形成した媒体4~6の端子9と10を媒体7で、端子11と12を媒体8で接続して、媒体4~6をその機のに対したように縦続接続する。媒体4~6は上配第1の実施例に示したような構成である。以上のような構成は、第1の実施例と同様に網環積層基板、厚膜積層基板および薄膜積層基板等で容易に実現することができる。

以上のように本実施例によれば、複数個のうず 巻形状の事体をその推体方向が同じになるように 報続接続することにより、小さい面積で大きいイ ングクタンスを実現できる、積層インダクタを容 島に実現することができる。

発明の効果

以上のように本発明は、積層基板の表面に対し て垂直方向に導体をうず巻形状に形成することに よって、小さい面積で、比較的大きなイングクク

以上のように本実施例によれば、小さな面積で、 比較的大きなインダクタンスをも実現することの できる積層インダクタを容易に実現することがで きる。

以下本発明の第2の実施例について図面を参照 しながら説明する。

第2図は本発明の第2の実施例における(a)は側面図、(b)はA-A・線における断面図、(c)はB-

ンスをも容易に実現することができる。

4. 図面の簡単な説明

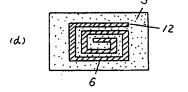
第1図は本発明の第1の実施例における積層イングククの断回図、第2図(4)本発明の第2の実施例における積層インダクタの側面図、第2図(4)はA-A・線における断面図、第2図(4)はC-C・線における断面図、第3図は従来のうず巻形状のインダクタの構成図である。

1, 3, 100……絶縁体、2, 4, 6, 7, 8, 101……導体、9, 10, 11, 12……端子。

代理人の氏名 弁理士 中尾敏男 ほか1名

特別462-189707 (3)

第1图 /--- 港 禄体 2--- 等体 (b) 3--- 港 禄 (c) 3--- 港 禄 (d) 3--- 港 春 (d) 3--- 港 (d) 3--- 和 (d)



(C)

25 2 KV

